

ARG

領域:情報資源管理
図書館ポータルデザインの


 日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修
 日時: 2008年7月21日(月)
 会場: 日本図書館協会

岡本真

ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)

編集長

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 1
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

本日の構成

1. 説明: 自己紹介 (10分)
2. 討論: 図書館ポータルを考える (50分)
3. 休憩 (10分)
4. 講義: 図書館ポータルをデザインする (50分)
5. 説明: 図書館ポータルを評価する (10分)
6. 質疑 (20分)

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 2
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

自己紹介

図書館への観点を中心に



ACADEMIC RESOURCE GUIDE 3
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

自己紹介

□ 岡本真 (おかもと・まこと)

- 1973年、東京都で出生
- 1997年、国際基督教大学を卒業
- 1998年、ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG) (週刊、約4600部)を創刊
- 2006年、『これからホームページをつくる研究者のために』(築地書館)を刊行
- 2007年、TRCライブラリー・アカデミーや文部科学省図書館地区別研修の講師を担当



ACADEMIC RESOURCE GUIDE 4
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)

□ **ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)**

- 1998年7月創刊、週刊、4600部、無料
- 「インターネットの学術利用」がテーマ



ACADEMIC RESOURCE GUIDE 5
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

参考: ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)の展開 - 図書館

1. 「利用者の目からみた図書館の目録」(2003年)
2. 「国立国会図書館への評価と期待」(2005年)
3. 「大学図書館のホームページを「再」設計しよう」(2005年)
4. 「総論「価値観の交差点」」(2006年)
5. 「Web2.0時代の図書館 - Blog, RSS, SNS, CGM」(2006年)
6. 「図書館サイトの現状」(2007年)
7. 「病院ライブラリアンにとってのWeb2.0」(2007年)
8. 「Web2.0と図書館」(2007年)
9. 「試論: 理想のOPACを求めて」(2007年)
10. 「5年の歳月が育んだもの」(2007年)
11. 「Web2.0時代の図書館」(2007年)

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 6
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ARG

参考: ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)の展開 - 図書館以外

1. 「社会科学系ホームページの現状と課題」(2000年)
2. 「インターネットにおける経済学サイト」(2001~2002年)
3. 「ネット・コンテンツとしての法情報の有益性と有害性」(2001年)
4. 「学術系リソースの可能性」(2005年)
5. 「これからの学術情報流通におけるインターネットの役割」(2001年)
6. 「いままぜ研究者の個人ホームページなのか」(2006年)
7. 「これからホームページを作る研究者のために」(2006年)
8. 「インターネットが研究を変えるために」(2006年)
9. 「学術研究プラットフォームとしてのネットサービスを夢見る」(2007年)
10. 「Web2.0時代に対応する学術情報発信へ」(2007年)
11. 「内容の向上の追求とトップランナーへの試行錯誤を」(2008年)

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 7

ARG

図書館ポータルを考える

図書館ポータルとは何か



ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 8

ARG

質問: ポータルのイメージ

ポータルって何ですか？

(あなたの答えは?)

どんなもの?

どのようなもの?

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 9

ARG

参考: ポータルの語義(1)

- Portal (Site)
 - 大辞泉曰く、
 - インターネットの入り口または玄関口に相当する商用のWebサイトのこと。サーチエンジンやリンク集、ニュース配信などのサービスを提供する。インターネットのブラウザを起動した時、最初に閲覧されることを目的とし、広告や電子商取引から収入を得ている。



ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 10

ARG

参考: ポータルの語義(2)

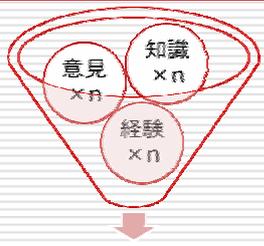
- Portal (Site)
 - Wikipedia曰く、
 - ポータルサイト(portal site)は、WWWにアクセスするときの入口となるウェブサイトのこと。元々ポータルとは、港(port)から派生した言葉で、門や入口を表し、特に豪華な堂々とした門に使われた言葉である。このことから、ウェブにアクセスするために、様々なコンテンツを有する、巨大なサイトをポータルサイトというようになった。入口、玄関という意味でエントランス(entrance)を使わなかったのは、ポータルには「豪華、堂々とした」という意味合いが強かったためと思われる。(後略)



ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 11

ARG

討論: 図書館におけるポータル



全員必ず
発言する仕組み

共通の理解と認識

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 12

ARG

参考: 討論の枠組み

目的 手段
対象 内容

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 13

ARG

暫定解: 図書館におけるポータル

目的
手段
対象
内容

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 14

ARG

休憩 (10分)

暫定解を忘れない範囲でリラックス

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 15

ARG

図書館ポータルをデザインする

何をデザインするのか

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 16

ARG

前提としてのウェブ理解

検索エンジンの隆盛 CGM/UGCの浸透
爆発するウェブ
ロングテール化現象 パーソナライズの試行

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 17

ARG

前提としての利用者理解

利用者の欲求 図書館の願望

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 18

ARG

前提としての図書館理解

対応サイクル

図書館の資源

総合的な提供

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 19

ARG

デザイン手法としてのターゲット設定

ターゲットの図式化

ターゲットの明文化

□ 図書館の新サイトでは、

1. 図書館の利用者のうち、サイトを利用していない来館利用者
2. 図書館の非利用者のうち、
 1. 類縁施設の利用者
 2. 類縁施設の非利用者
 を主たるターゲットとする。

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 20

ARG

デザイン手法としてのVMS設定 (1)

- Vision
 - 実現する未来
- Mission
 - 未来を実現するための使命
- Strategy
 - 使命を果たすための方策

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 21

ARG

デザイン手法としてのVMS設定 (2)

- Strategy
 - 全行政資料の所蔵と電子化
 - 所蔵資料の検索機能の提供
 - 他の行政サイトとの連携連携
- Mission
 - 全行政窓口とのシームレスな連携
- Vision
 - すべての行政サービスの入口

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 22

ARG

デザイン手法としての全体構成

ウェブ全体とのつながり方も！

画面遷移図：ツリー式のチャート

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 23

ARG

デザイン手法としての個別構成

画像

図書館 - (Vision挿入欄)

ヘルプ

OPAC検索窓

イベント情報

メニュー
(機能系)

新着図書紹介

メニュー
(連絡系)

画面配置設計図(ワイヤーフレーム)

ACADEMIC RESOURCE GUIDE <http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/> 24

ARG

図書館ポータルを評価する

1ヶ月後の研修に向けて



<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 25

ARG

課題: 自館サイトの評価

- お勤めの図書館のサイトの評価レポートを作成してください。
 1. 原則的にPowerPointにまとめてください。
 2. PowerPointにまとめた資料は8/11(月)中に事務局まで電子メールで提出してください。
 3. 評価にあたっては本日の研修の内容を踏まえてください。
 4. 勤務先だからこそわかる利用者像やVMSを具体的に踏まえることを希望します。

<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 26

ARG

次回の予告 - 報告とコメント

- 構成
 - 個別報告(全員) - 約2時間
 - 持ち時間(報告5分/質疑5分)
 - 全体討議(全員) - 約30分
- 注意点
 - 時間内で話しかれるよう予行練習を
 - 自信がない場合は原稿を書く(推奨)
 - 必ず他の参加者の報告にコメントを
 - 他の参加者の勤務館サイトを見ておく(推奨)



<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 27

ARG

参考: 参加者の勤務館

□ 足立区立中央図書館	□ 千葉県立中央図書館
□ 高松市牟礼図書館	□ 吹田市立中央図書館
□ 上越市立高田図書館	□ 千葉市女性センター 情報資料センター
□ 千代田図書館	□ 浦河町立図書館
□ 恵那市中央図書館	□ 日本医科大学図書館
□ 新潟市立西川図書館	□ 奈義町立図書館
□ ふじみ野市立上福岡 図書館	

<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 28

ARG

それでは1ヶ月後に



岡本真

ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG)

編集長

<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 29

ARG

[PR]ARGの活動予定

- 2008年7月25日(金)
 - 平成20年度専門図書館協議会全国研究集会 小分科会(ワークショップ形式)
 - 於: 京都府/ 京都リサーチパーク
- 2008年9月3日(水)
 - 第17回京都図書館大会
 - 基調講演「いま図書館に求められる新たなウェブ活用戦略」
 - 於: 京都府/ 同志社大学
- 2008年9月19日(金)
 - 全国図書館大会第94回兵庫大会
 - 「『Web2.0時代』における図書館の自由」パネリスト
 - 於: 兵庫県/ 神戸学院大学

<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>

ACADEMIC RESOURCE GUIDE 30